

今年度最初の予備自衛官招集訓練



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は令和3年6月11日（金）から15日（火）までの5日間、新発田駐屯地で実施された第1回予備自衛官招集訓練（第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 遠藤祐一郎）が担任）を支援しました。新潟地本としては今年度最初の招集訓練であり、コロナ禍でも円滑に訓練に出頭できるよう、年度当初から綿密な調整を実施した結果、予備自衛官総勢92名が出頭に応じてくれました。訓練間においては、予備自衛官の出頭状況の確認及び身上把握、関係部隊との連絡調整等の管理業務により訓練を支援しました。

訓練項目は精神教育、武器訓練、救急法、野外衛生訓練、格闘訓練等、多岐に渡り、予備自衛官として必要な知識及び技能の維持、向上のためそれぞれの期間、訓練を行いました。

特に救急法、野外衛生は前年度と比べより実戦的な状況を想定した内容に変更されており、患者の搬送要領や治療の方法、AEDや各種救急品の使い方等の新しい技術について苦戦しながらも熱心にメモを取り確認する姿や何度も繰り返し練成する姿が見られました。



参加した予備自衛官からは「練度の維持、向上だけでなく新たな知識と技術の修得もできてとても有意義な訓練だった」「初めて格闘訓練に参加したが教官の説明がとても分かり易くすぐに修得できた」「救急法が自分の現役の時と比べ大きく改善されており、覚えることが多かったが、非常にためになる訓練だった」などと話しており、非常に高い訓練効果を得ることができました。

新潟地本は引き続き関係部隊及び予備自衛官の職場と連携して訓練へ円滑に参加できるようにするとともに、任期満了退職隊員が一人でも多く予備自衛官に志願するよう勧誘に努めていきます。

